

TORO[®]

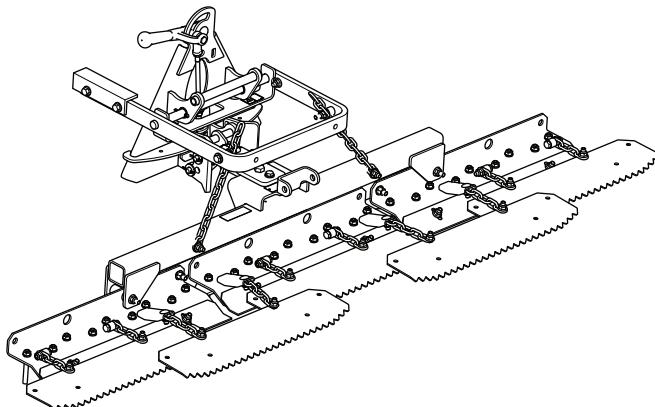
Count on it.

オペレーターズマニュアル

ツースレー**キ**

Sand Pro®/Infield Pro® 3040 および 5040 トラクションユニット用

モデル番号 08751—シリアル番号 400000000 以上





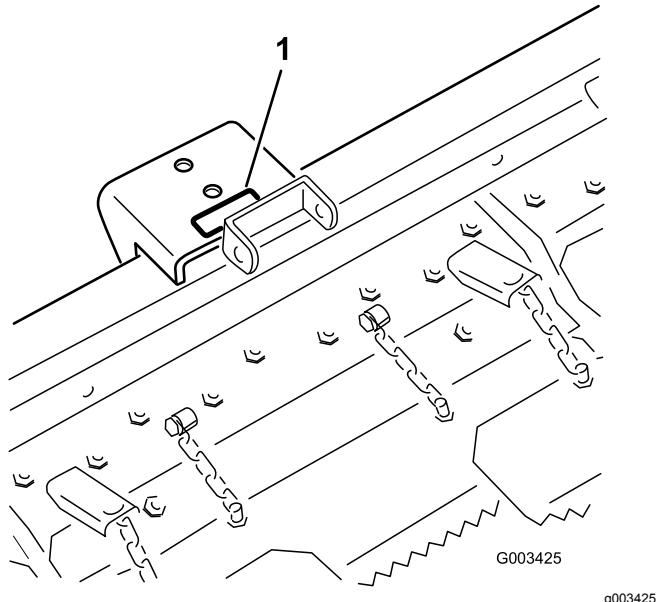
g000502

はじめに

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からないまた適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

弊社のウェブサイト www.Toro.com で製品やアクセサリ情報の閲覧、代理店についての情報閲覧、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

整備について、また純正部品についてなど、分からることはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。**図 1**にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

**図 1**

1. モデル番号とシリアル番号の表示場所

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号 **図 2**を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。

図 2
危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。重要「重要」は製品の構造などについての注意点を、注はその他の注意点を表しています。

目次

安全について	3
安全ラベルと指示ラベル	3
組み立て	4
1 レーキの組み立て	5
2 トラクションユニットへの取り付け	5
3 リンクアセンブリを調整する	6
製品の概要	8
運転操作	9
トレーニング期間	9
レーキ作業のコツ	9
レーキングのパターン	9
サンドバンカーへの出入り	9
レーキの角度を調整する	9
均し板を調整する	10
レーキのストップボルトの角度を調整する	10
ウェイトの利用	10
移動走行するとき	11
レーキとトラクションユニットの洗浄と点検	11
保守	12
アタッチメントアダプタのグリスアップ	12

安全について

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。
破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal106-5517

106-5517

1. 警告 高温部に触れないこと。
-

組み立て

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	ツースレーキアセンブリ	1	レーキを組み立てます。
	牽引バー	1	
	ボルト $\frac{1}{2} \times 1\frac{3}{4}$ "	1	
	フランジナット(1/2")	1	
	六角ナット1/2"	1	
	フランジヘッドボルト $\frac{3}{8} \times 1$ "	1	
	フランジナット3/8"	1	
	アタッチメントアダプタアセンブリ	1	
	コッターピン	2	
	昇降アームアセンブリ	1	
2	ピボットバー	1	レーキをトラクションユニットに取り付けます。
	ボルト $\frac{3}{8} \times 1\frac{1}{4}$ "	1	
	ロックナット3/8"	1	
	ボルト $\frac{3}{8} \times 2\frac{1}{2}$ "	2	
3	ワッシャ $\frac{3}{8} \times \frac{7}{8}$ "	4	リンクアセンブリの調整を行います。
	スペーサ	2	
	ロックナット3/8"	2	
	必要なパーツはありません。	—	

1

レーキの組み立て

この作業に必要なパーツ

1	ツースレーキアセンブリ
1	牽引バー
1	ボルト $\frac{1}{2} \times 1\frac{3}{4}$ "
1	フランジナット(1/2")
1	六角ナット1/2"
1	フランジヘッドボルト $\frac{3}{8} \times 1"$
1	フランジナット $\frac{3}{8}$ "
1	アタッチメントアダプタアセンブリ
2	コッターピン
1	昇降アームアセンブリ
1	ピボットバー
1	ボルト $\frac{3}{8} \times 1\frac{1}{4}$ "
1	ロックナット $\frac{3}{8}$ "

手順

1. ハンガーアセンブリ図3の前穴に、牽引バーを仮止めするボルト $\frac{1}{2} \times 1\frac{3}{4}$ "1本、フランジナット1/2"1本、六角ナット1/2"1個を使用する。

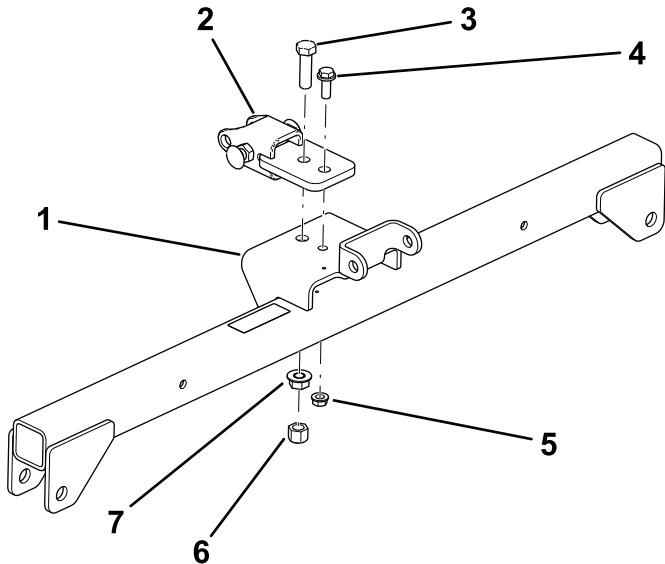


図3

1. ハンガーアセンブリ
2. 牽引バー
3. ボルト $\frac{1}{2} \times 1\frac{3}{4}$ "
4. ボルト $\frac{3}{8} \times 1"$
5. フランジナット(1/2")
6. 六角ナット1/2"
7. フランジナット(1/2")

2. ハンガーアセンブリの後穴に、トングチューブを仮止めするフランジヘッドボルト $\frac{3}{8} \times 1"$ 1本、フランジナット $\frac{3}{8}$ "1本を使用する。

ナットを以下の値にトルク締めする

- フランジナット1/2"を104-126 N·m11-12 kg.m = 77-93 ft-lbにトルク締めする。
- 六角ナット1/2"を91-113 N·m9-11 kg.m = 67-83 ft-lbにトルク締めする。
- フランジナット $\frac{3}{8}$ "を22-27 N·m2.2-2.8 kg.m = 16-20 ft-lbにトルク締めする。

3. 昇降アームを、アタッチメントアダプタのブラケットに整列させ図4、ピボットバーを使って、図5のように接続する。

注 アタッチメントアダプタを動かす時には、アダプタの後部についているハンドルを使ってください図4。

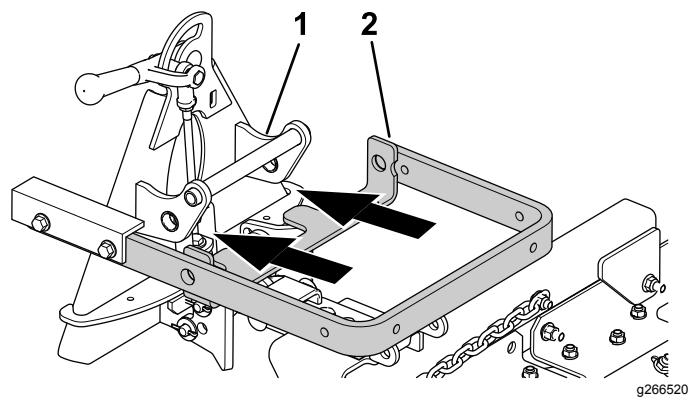


図4

1. アタッチメントアダプタ
2. 昇降アーム

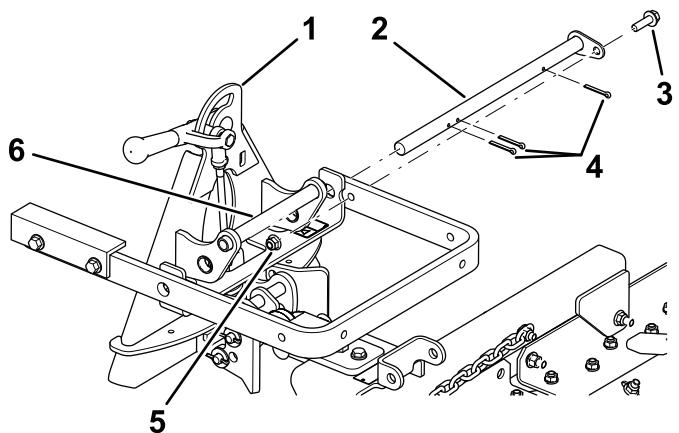


図5

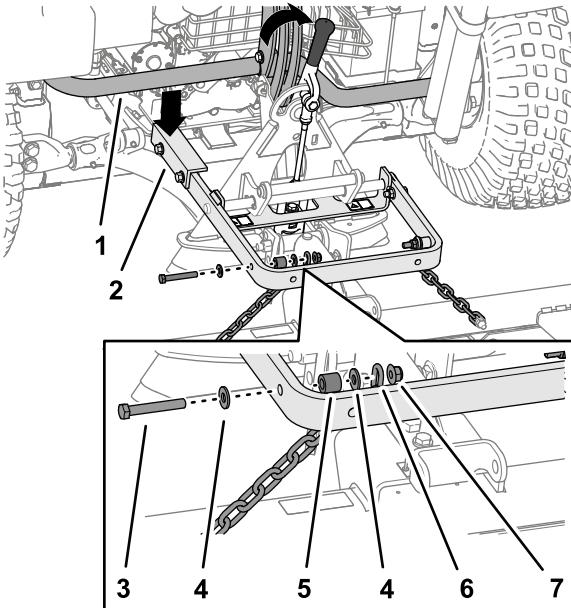
1. アタッチメントアダプタ
 2. ピボットバー
 3. コッターピン
 4. ボルト $\frac{3}{8} \times 1\frac{1}{4}$ "
 5. ロックナット $\frac{3}{8}$ "
 6. ハンドル
4. ピボットバー図5を固定するコッターピン3本とボルト $\frac{3}{8} \times 1\frac{1}{4}$ "とロックナット $\frac{3}{8}$ "を使用。

2

トラクションユニットへの取り付け

この作業に必要なパーツ

2	ボルト $\frac{3}{8}$ x 2 $\frac{1}{2}$ "
4	ワッシャ $\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{8}$ "
2	スペーサ
2	ロックナット $\frac{3}{8}$ "



g220791

図 6

1. トラクションユニットのチューブフレーム
2. 昇降アームアセンブリの長いアーム
3. ボルト $\frac{3}{8}$ x 2 $\frac{1}{2}$ "
4. ワッシャ $\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{8}$ "
5. スペーサ
6. チェーン
7. ロックナット $\frac{3}{8}$ "

手順

1. 機体後部についているアタッチメントをすべて外す。
2. トラクションユニットのアダプタを降下させ、トラクションユニットを後退させてアタッチメントのアダプタの正面に停車する。
注 ロックレバーが、車体後ろから見て左側解除位置にセットされていることを確認してください。
3. アタッチメントのアダプタを、トラクションユニットのアダプタにセットする。
- 重要** 昇降アームアセンブリの長いアームが、トラクションユニットの後フレームアセンブリの下に来るのが正しい位置です [図 6](#)。

▲ 注意

アタッチメントとトラクションユニットのアダプタとの間に指を挟まれる恐れがある。

アタッチメントアダプタを動かす時には、必ずアダプタの後部についているハンドルを使うこと [図 6](#)。

4. ロックレバーを右側に倒して、アダプタ同士をロックする。
5. 各チェーンの一番上のリンクを、昇降アームの外側に取り付けるボルト $\frac{3}{8}$ x 2 $\frac{1}{2}$ "、ワッシャ $\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{8}$ " 2枚、スペーサ、ロックナット $\frac{3}{8}$ "を使用 [図 6](#)を参照。

注 レーキを下降させたときレーキ作業モード、チェーンにたるみがないとレーキが適切に作動しません。

注 全部の仕上げレーキが相互に重なり合っていること、平らに寝ていること、また、どのチェーンも絡んだりしていないことを確認してください。

3

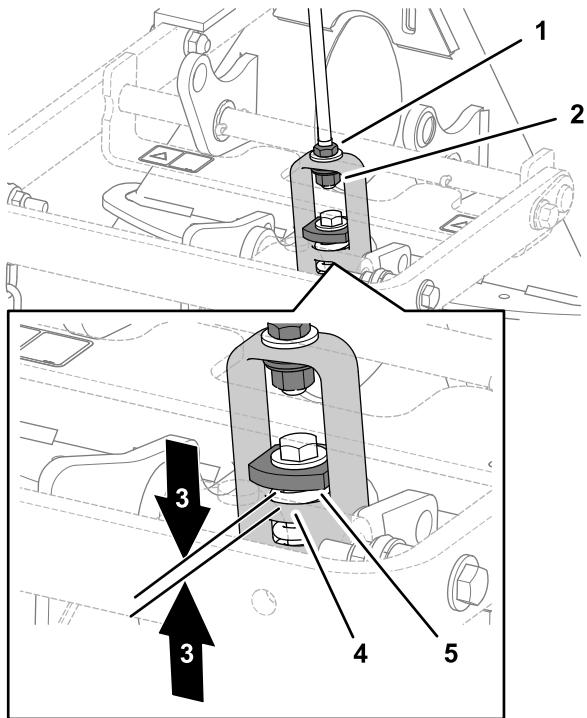
リンクアセンブリを調整する

必要なパーツはありません。

手順

1. アタッチメントをトラクションユニットに固定した状態で、上昇させる。
2. ヘビーワッシャから昇降ヨークの肩との間のすきまを測って、[図 7](#)に示すようになっていることを確認する。

注 ヘビーワッシャから昇降ヨークの肩との間のすきまの大きさが 1.5-2 mm であれば、リンクの調整は適正である [図 7](#)。



g220790

図 7

- | | |
|-------------|------------|
| 1. ジャムナット | 4. 昇降ヨークの肩 |
| 2. 調整ナット | 5. ヘビーワッシャ |
| 3. 1.5-2 mm | |
3. すきまの大きさが適正でない場合は、リンクアセンブリについているジャムナットをゆるめ、調整ナットを締め方向またはゆるめ方向に回してすきまを調整する図 7。

製品の概要

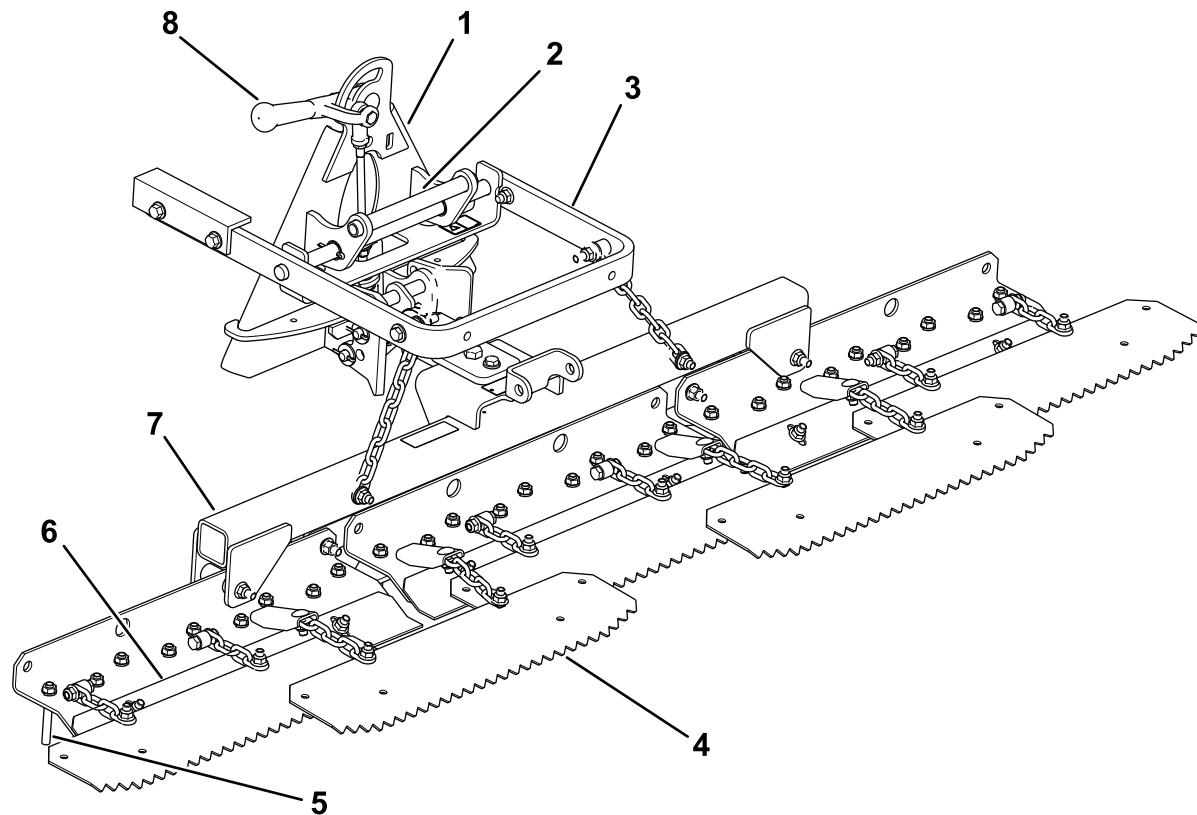


図 8

1. アタッチメントアダプタ 3. 昇降アーム 5. プロング 7. ツースレーキハンガー
2. 取っ手 4. 仕上げレーキ 6. 均し板 8. ロックレバー

g262222

運転操作

実際にレーキ作業を行う前にこのレーキ作業の項全体をよく読んでください。バンカーのコンディションは千差万別なので、スースレーキにも色々な調整が必要になります。砂の質や深さ、湿り具合、雑草の有無、固結の状態など様々な要因が色々に重なり合い、ゴルフ場によって、さらにはバンカーごとにも異なっています。ですから、作業する場所の条件に合わせて、最も良い結果が得られるようにレーキを調整してください。

トレーニング期間

最初はなるべく広くてフラットなサンドバンカーを選んで練習してください。発進、停止、旋回、レーキの上昇と下降、バンカーへの出入りなどを練習します。エンジンの速度を中程度に調整し、ゆっくりとした走行で練習しましょう。十分に練習することでトリローラの操作に自信が生まれます。

注 アタッチメントを下降させたままでバックしないでください。アタッチメントが破損します。

レーキ作業のコツ

砂が十分に深い厚い場合には、サンドトラップの壁が立ち上がるギリギリのところまでレーキをかけても大丈夫です。

壁がはっきりしない、砂が徐々にターフに変化するようなバンカーでは、エッジ部分にレーキを掛けると砂の下の土を掘り起こしてしまう恐れがありますから、十分に離れて作業しましょう。

小さな、深いバンカーでは、壁に近づきすぎないことが大切です。壁の近くにレーキを掛けても、砂が上から落ちてくるだけできれいになりません。

このようなバンカーや小さなポケット部分では、熊手を使って手作業で仕上げをすることが必要になる場合があります。

レーキングのパターン

図9に示すようなパターンでバンカーの均し作業を行ってください。このパターンで作業すると、無駄な重なりをなくし、固結を最小限に抑えながら、美しい砂模様を作ることができます。

バンカーの長い軸に沿って、壁が一番低くなっているところから真っ直ぐに中に入ります。バンカーの中心線に沿ってほぼ反対側まで真っ直ぐにレーキを掛け、左右どちらかになるべく小さくUターンし、ぴったり折り返すようにしてレーキ作業を続けますこの操作を繰り返して、外へ外へとらせん状にレーキ掛けを行い、最後に、平らな場所からほぼ直角に外へ出ます。

急斜面、非常に小さいバンカー、ポケット部などには無理に入り込みます、後から手作業で仕上げてください。

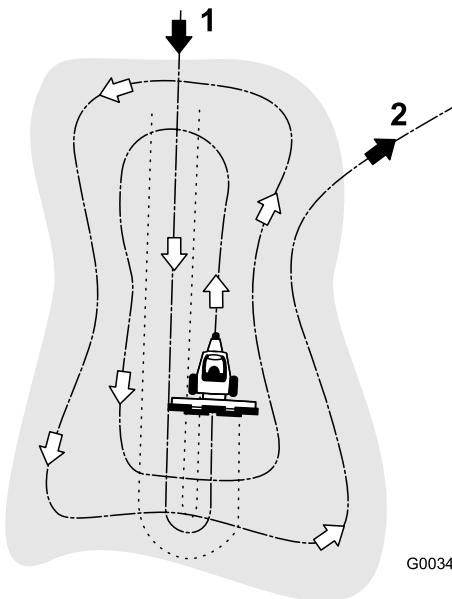


図9

1. 壁の低いところを選んでバンカーの軸に沿って真っ直ぐに入る。
2. 平らなところを選んでほぼ垂直に出る。

サンドバンカーへの出入り

バンカーに入る時には、レーキが砂の上にくるまで、レーキを下げてはいけません。レーキを早く下げてしまうと、ターフを傷つけたり、刈りかすやその他のゴミをバンカーの中に引きずりこんでしまったりします。レーキは、走行しながら下げてください。

バンカーを出る時には、前輪がバンカーを出た時を見計らってレーキを上昇させます。そのままスムーズにバンカーを出れば、ターフの中に砂を引きずり込んだりすることなく、きれいに出ることができます。

バンカーへの出入りのタイミングは、少しの練習と経験で、すぐに身に着けることができます。

レーキの角度を調整する

レーキの位置を変えて、砂への食い込みを大きくしたり小さくしたりすることができます。牽引バーとレーキを以下の図のように取り付けて、希望する食い込み強さに調整してください。

タインの食い込みをできるだけ浅く設定するには

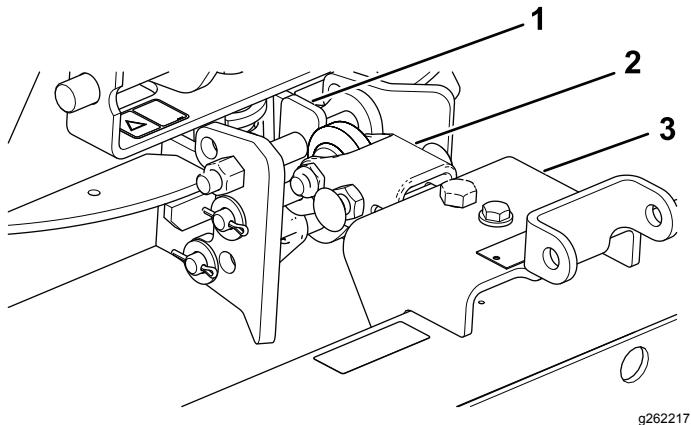


図 10

1. 平らな側が上
2. 牽引バー
3. レーキ

1. ヒッチアセンブリを、平らな側が上になるようにして取り付ける図 10。
2. 牽引バーをハンガーアセンブリの下側に組み付ける図 10。

タインの食い込みを一番深く設定するには

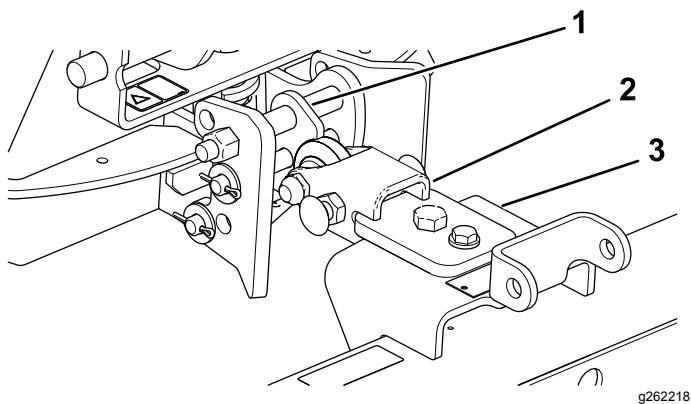


図 11

1. 角度の付いている側が上
2. 牽引バー
3. レーキ

1. ヒッチアセンブリを、角度の付いている側が上になるようにして取り付ける図 11。
2. 牽引バーをハンガーアセンブリの上側に組み付ける図 11。

均し板を調整する

均し板の突き出し長さを調整することにより、プロング歯の食い込み深さを調整することができます。

取り付けネジをゆるめて、均し板を上または下にずらして希望する位置にセットし、ネジで固定してください図 12。

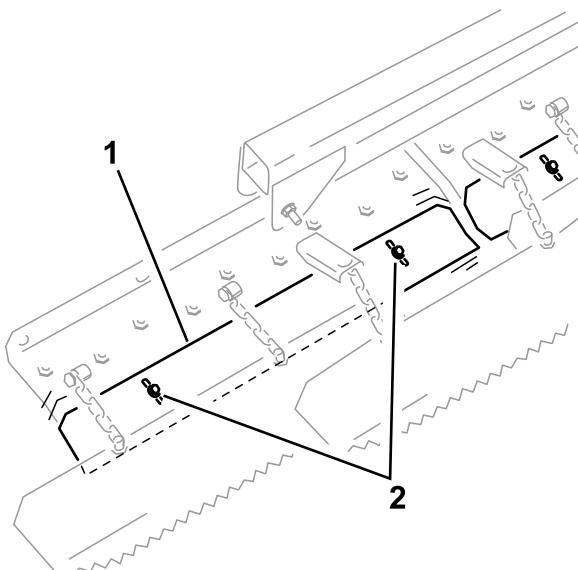


図 12

1. 均し板
2. 取り付けネジ

レーキのストップボルトの角度を調整する

ストップボルトのジャムナットをゆるめ、ボルト図 13を回転させて、レーキの左右方法の回転角度を調整する。ジャムナットを締めて調整を固定する。

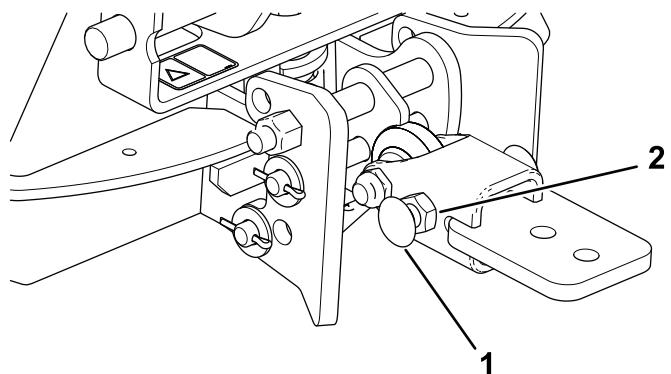


図 13

1. ストップボルト2本
2. ジャムナット(2個)

ウェイトの利用

砂がぬれているときやバンカー内に足跡が深く付いている場合は、仕上げレーキにオプションのウェイトを取り付けることができます。パート番号は P/N 18-7570 ご注文は Toro 代理店へ。

移動走行するとき

移動走行に移るときには、以下の操作を確実に行ってレーキをできるだけ高く上げてください。

1. レーキと昇降アセンブリをできるだけ低い位置まで下降させる。
2. 昇降アームからチェーンを外して、もっと高い位置に取り付ける。

注 次の現場に到着したら、レーキが正しく動作するよう、チェーンの位置を元のゆるい位置に戻してください。

レーキとトラクションユニットの洗浄と点検

レーキ作業が終了したら、機体を十分に清掃してください。この装置は砂地で使用することを目的としたものですが、砂は極めて研削性の高い物質ですから、作業後はなるべく完全に砂を落としておくことが大切です。作業ごとに砂が乾いてこびりついてしまう前に洗車すれば、通常のホース洗浄で十分にきれいになります。高圧洗浄器を使うと、回転部分などに砂粒を押し込んでしまう恐れがあり、逆に機械の磨耗を早めることになります。

注 アタッチメントのアダプタがトラクションユニットのアダプタに引っかかってしまった時は、バールやドライバーなどをスロットに差し込んで外してください [図 14](#)。

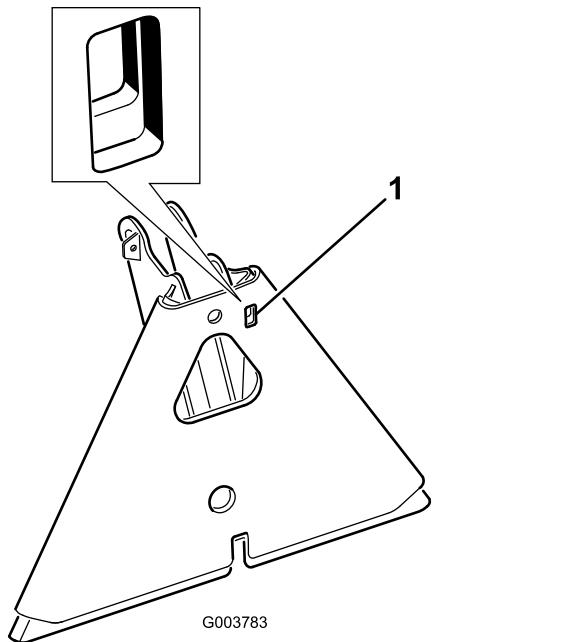


図 14

1. スロット

保守

アタッチメントアダプタのグリスアップ

アタッチメント側のアダプタのロックレバーの動きが悪くなってきたら、図15に示す部分に薄くグリスを塗ってください。

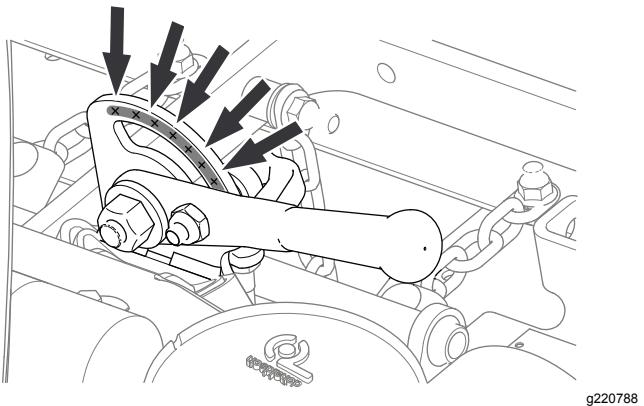


図 15

メモ

メモ

欧洲におけるプライバシー保護に関するお知らせ

トロが収集する情報について

トロ・ワランティー・カンパニー・トロは、あなたのプライバシーを尊重します。この製品について保証要求が出された場合や、製品のリコールが行われた場合にあなたに連絡することができるよう、トロと直接、またはトロの代理店を通じて、あなたの個人情報の一部をトロに提供していただくようお願いいたします。

トロの製品保証システムは、米国内に設置されたサーバーに情報を保存するため、個人情報の保護についてあなたの国とまったく同じ内容の法律が適用されるとは限りません。

あなたがご自分の個人情報を提供なさることにより、あなたは、その情報がこの「お知らせ」に記載された内容に従って処理されることに同意したことになります。

トロによる情報の利用

トロでは、製品保証のための処理ならびに製品にリコールが発生した場合など、あなたに連絡をすることが必要になった場合のために、あなたの個人情報を利用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。弊社があなたの個人情報を他社に販売することはありません。ただし、法の定めによって政府や規制当局からこれらの情報の開示を求められた場合には、かかる法規制に従い、また弊社ならびに他のユーザー様を保護する目的のために情報開示を行う権利を留保します。

あなたの個人情報の保管について

トロでは、情報収集の当初の目的を遂行するのに必要な期間にわたって、また法に照らして必要な期間法律によって保存期間が決められている場合などにわたって情報の保管を行います。

弊社はあなたの個人情報の流出を防ぎます

トロは、あなたの個人情報の保護のために妥当な措置を講ずることをお約束します。また、情報が常に最新の状態に維持されるよう必要な手段を講じます。

あなたの個人情報を訂正したい場合などのアクセス方法

ご自身の個人情報を確認・訂正されたい場合には、legal@toro.com へ電子メールをお送りください。

オーストラリアにおける消費者保護法について

オーストラリアのお客様には、梱包内部に資料を同梱しているほか、弊社代理店にても法律に関する資料をご用意しております。

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワンティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。

*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなくなったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department

Toro Warranty Company

8111 Lyndale Avenue South

Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740

E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびペーリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出来ることのできるエネルギーの総量 kWh が決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額遞減方式となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらにかかる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての默示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また默示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。